

【会情報】

【会員企業ご訪問 : Vol. 150】

熊野合成株式会社 (八尾支部)

今回は西日本プラスチック八尾支部会の熊野合成株式会社の
専務取締役 那須 紳一氏と常務取締役 三本 泰弘氏を訪ねました。

本社住所	八尾市久宝寺6丁目6番61号
電話	072-923-4465
FAX	072-991-7006
資本金	3,200万円
創業	1950年
法人設立	1961年
設置成形機	東芝機械製 日精樹脂工業製 80t~180t 計14台
主な製品	医薬品・化粧品・食品用の容器/ キャップ等



専務取締役 那須 紳一 氏(右)
常務取締役 三本 泰弘 氏(左)

会社名の由来

会社名の『熊野』という名称の由来については正式な記録が残っておらず、推測なのですが、創始者が和歌山県田辺市の出身で、同市にある熊野古道が有名な事からその名前に肖って『熊野』の名称を社名に入れた様です。元々は阿倍野区で創業しましたが、当時の取引先等との利便性から、1961年に現在の八尾市に工場及び本社を移転し、現在に至っています。



本社工場外観

衛生・品質管理の徹底

現在、当社がメインとしている製品は医薬品や化粧品、食料品用の容器及びキャップです。どのような製品でも品質は求められると思いますが、当社で製造している製品は特に衛生や品質管理が求められる分野ですので、衛生・品質管理の徹底には特に力を注いでいます。具体的には、クリーンルームが2箇所ある他、仕上げ加工兼検査室を4箇所設置しています。勿論エアシャワーも完備しており、製品への不純物混入を徹底して防ぎつつ成型品の検品にも徹底して取り組んでいます。



自社製造品の一部



製品検査の様子

現在、工場は3交代制で24時間稼働しています。ただ、普段からある程度余力を持たせた状態で24時間稼働させているので、もし仕事量がキャパオーバーしている会員様がおられましたら、お力になれるかもしれませんので、お気軽にご相談下さい。

自社の強み

当社の強みは何よりも『従業員の意識レベルの高さ』だと思います。製造業の基本である『5S活動』は勿論、2名でタッグを組み、交代制で毎週整理整頓ができているか、ゴミ等は落ちていないかといったチェックを社員同士で行っている他、会社の方針や目標、注意事項等を従業員全員で共有するためのミーティングを週に1度開催し、従業員全員が目的意識を持って従事する様に心掛けており、こういった事から育まれる業務に対する意識レベルの高さにより当社の衛生・品質管理が保たれていると考えているからです。



工場内の様子

私たちは『会社は人材で決まる』と考えています。衛生や品質管理といった目に見える部分から、従業員全体のやる気や意欲などの見えない部分まで、良い事も悪い事も影響が出ますので、当社では『人材』を重視しています。その為、特に製造業では長らく「採用難」と言われ続けていますが、人手が不足しているとの理由だけで採用基準を下げて、「とりあえず採用」といった事はしていません。必ず「この人であれば大丈夫」と納得して初めて採用する様にしています。

現在の課題

現在の課題は2つあり、1つは人材育成だと考えています。

具体的には、リーダーの育成が急務なのですが、こればかりはどうしても時間が必要なため、地道に教育を続けることで将来に繋がたいと思っています。

もう1つは価格転嫁対策です。最近では最低賃金や運送費、材料費等何かと値上がりが続いていますので、製品単価の値上げをお願いするのですが、受け入れてもらえる事は少なく、下請け業者が泣かざるを得ないのが現状です。最近、ようやく中小企業庁の価格転嫁対策調査が効果を少しずつ表し始めているようですが、それでもまだまだ下請け業者が泣かされる事が多く、対策が課題だと考えています。

協会への要望点

先ほど課題でもお話ししたのですが、価格転嫁拒否が我々にとって大きな課題となっています。その為、協会として『不正な価格転嫁拒否は禁止です』等の声明文を作成して頂ければ非常に助かります。

協会では個々の会社では対応や対策ができないようなことについて、連合体だからこそこできるような取り組みを中心に行って頂きたいと思います。

※ 会社を訪問して ※

会社は人材で決まる、という言葉にとっても重みを感じました。採用難と言われるこの時代でも人材にこだわり、人手が足りなくとも「この人なら大丈夫」と思わなければ採用しない等、会社、そしてものづくりは「人、そして思い」が重要だという事に改めて気づかせて頂きました。

◎ありがとうございました
取材：事務局 山下・大杉

※本記事記載の情報については、2019年2月6日現在のものとなります。

掲載希望の方は

事務局(06-6538-6100)までご連絡ください。